

KEYLEX®

パブリックモデル

PUBLIC MODEL



KEYLEX®
4000



KEYLEX®
2100



KEYLEX®
1100

高級感ある堂々とした佇まい。実績あるキーレックスの集大成です。
暗証番号の簡単変更機能など、さらなる使い勝手を追求しました。

KEYLEX®

4000 Prime

自動施錠

両面ボタンタイプ
デッドロック機能
他社製品の
シリンダーの
組込みも可能

3 colors

- シルバー（メッキ）
- シルバー（塗装）
- アンバー（塗装）

番号組み合わせ

32,768通り

適応扉重量80kg以下
標準扉厚30～45mm

記憶番号
1～15桁まで
任意に設定可能

記憶番号の変更
クイックナンバー
チェンジ方式

ハンドル

レバー式

ノブ式

PAT.P
※写真は原寸です

安心をもっと簡単に。

安全をもっと快適に。

KEYLEX® 4000 Prime



新機能



視認性と耐久性に優れたボタン

人間工学に基づく視認性の高いボタンを採用。耐久性に優れています。

新機能



安心安全なADS錠

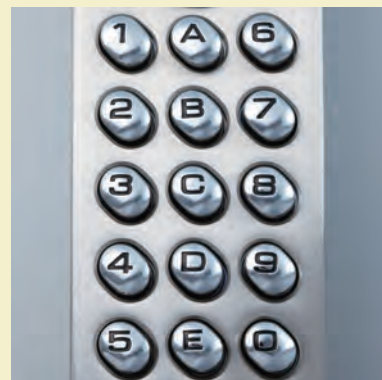
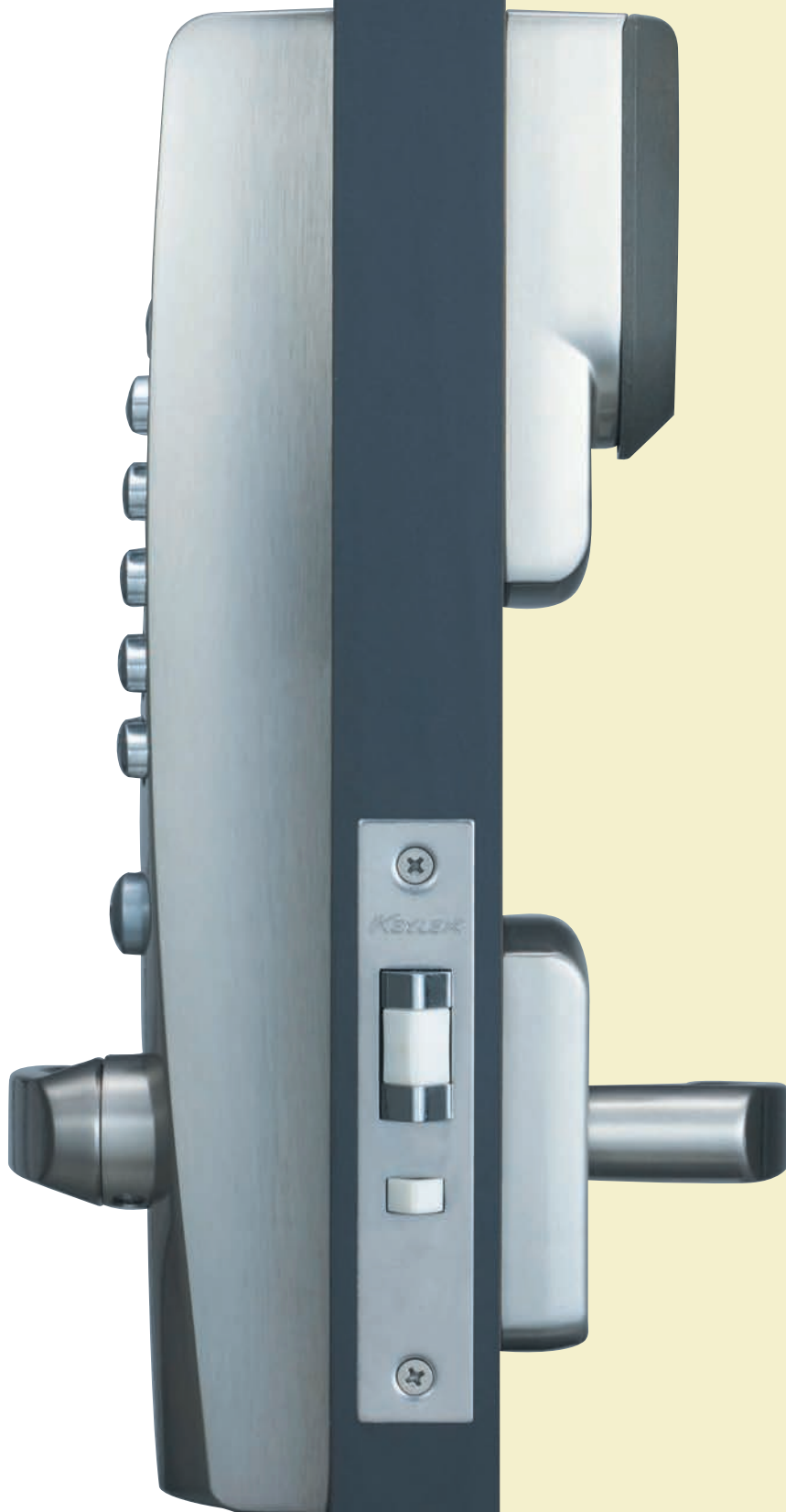
万が一、錠が破損した場合でも安全に開閉できるフェイルセーフ設計。作動したときは、錠を交換してください。

新機能



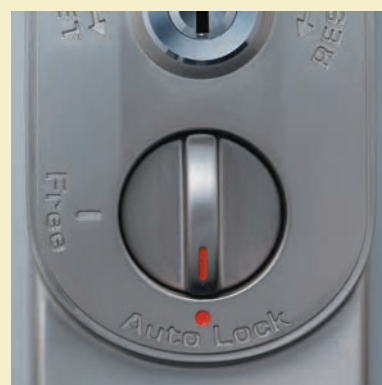
記憶番号の変更も瞬時に

クイック・ナンバー・チェンジ機能で、ドアから取り外さずに、瞬時に記憶番号の変更ができます。「シリンダー切替タイプ」と「プラグ切替タイプ」の2タイプから選ぶことができます。



高い防犯性

記憶番号は最大15桁(32,768通り)の組み合わせ。レバーハンドルに「こじ開け防止・安全装置」、ボタンに「読取防止機能」があり、高い防犯性を誇ります。



自動施錠・空錠切替機能

扉を閉めると自動的に施錠し、鍵のかけ忘れを防止します。また、出入りの頻繁な場合、鍵のかからない空錠にも切り替え可能です。



室内外の双方向からのボタン解錠も

外部、内部ともに施解錠を制限したい場所に適したタイプ。内外、別々の記憶番号設定も可能です。

※両面取付の場合、クイック・ナンバー・チェンジ機能は使えなくなります。

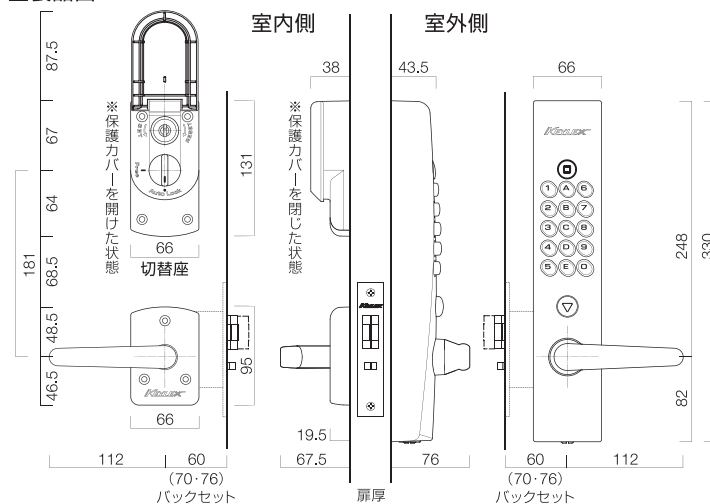
KEYLEX® キーレックス 4000 自動施錠

- 材 質：アルミ
- 仕 上：WB(シルバー)メッキ/AS(シルバー)塗装/AB(アンバー)塗装
- 標準扉厚：30~45mm 標準以外は扉厚をご指定ください。(特注扉厚45~60mm)



自動施錠鍵付・シリンダー切替タイプ(K423CM)

■製品図



K423CM

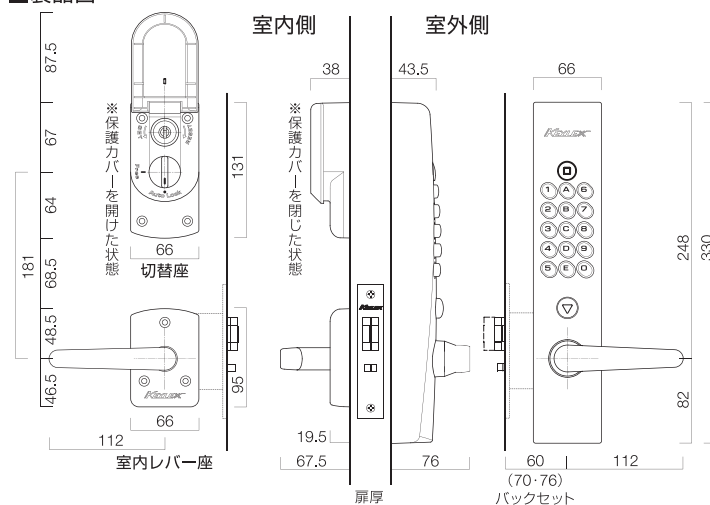
WB AS AB

鍵
つき



自動施錠・シリンダー切替タイプ(K423C)

■製品図



K423C

WB AS AB

鍵
なし

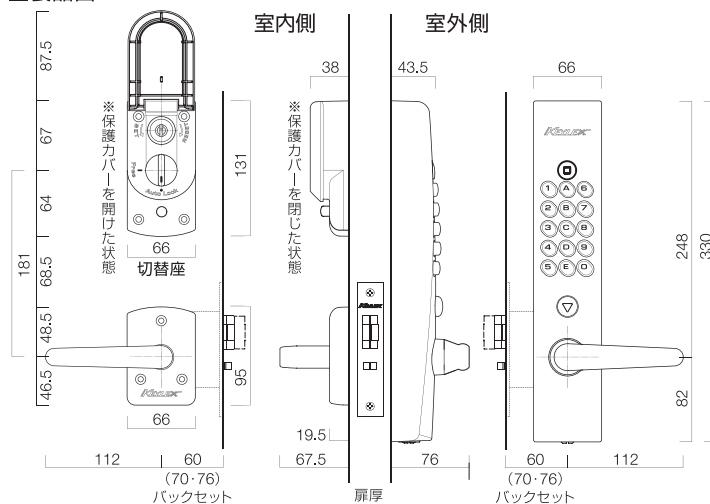
キーレックス4000機能バリエーション
品番は見開きインデックスをご参照ください。

- 鍵なし 鍵のつかないタイプです。
- 鍵つき 鍵つきタイプです。(キー2本付)
- デッド デッドロック機能付です。
- 両面 両面ボタンタイプです。



自動施錠デッドロック・シリンダー切替タイプ(K423CD)

■製品図



- WB
- AS
- AB

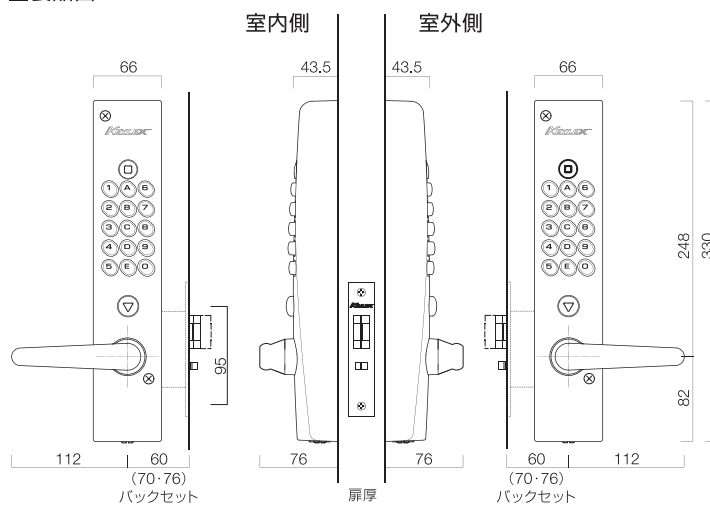
- 鍵つき
- デッド

K423CD



自動施錠鍵付・両面ボタンタイプ(K463M)

■製品図



- WB
- AS
- AB

- 鍵つき
- 両面

K463M

*マークの用語については、巻末(P66・67)の用語集をご覧ください。

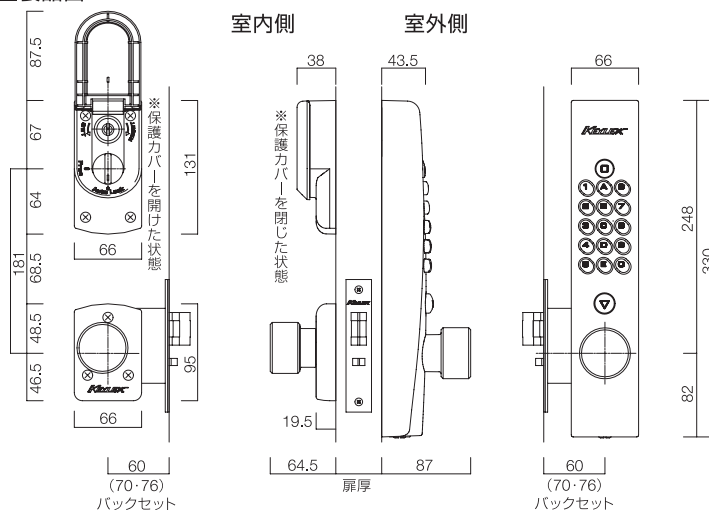
KEYLEX® キーレックス 4000 自動施錠

- 材 質：アルミ
- 仕 上：WB(シルバー)メッキ/AS(シルバー)塗装/AB(アンバー)塗装
- 標準扉厚：30~45mm 標準以外は扉厚をご指定ください。(特注扉厚45~60mm)



自動施錠鍵付・シリンダー切替タイプ(K403CM)

■製品図



K403CM

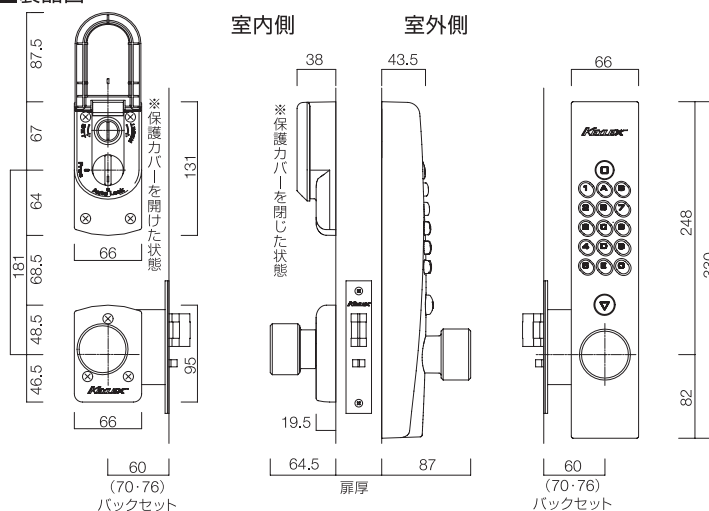
WB AS AB

鍵つき



自動施錠・プラグ切替タイプ(K403P)

■製品図



K403P

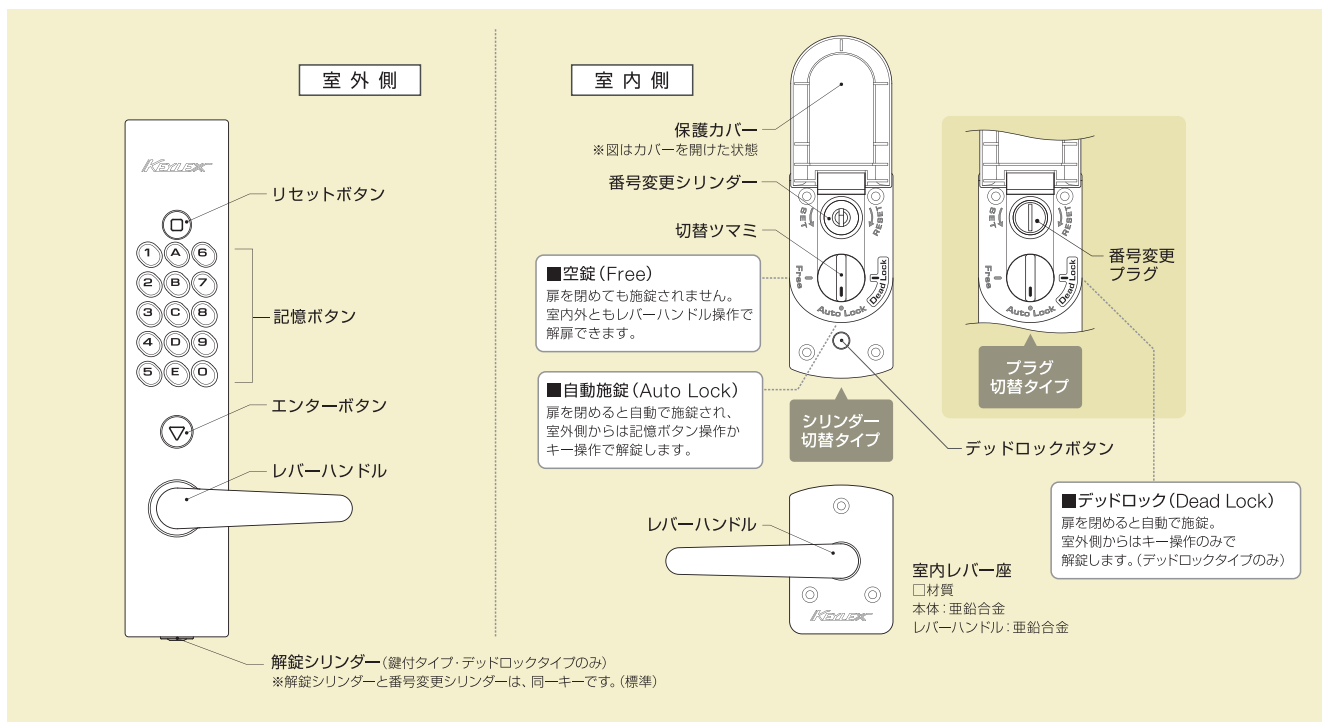
WB AS AB

鍵なし

キーレックス4000機能バリエーション
品番は見開きインデックスをご参照ください。

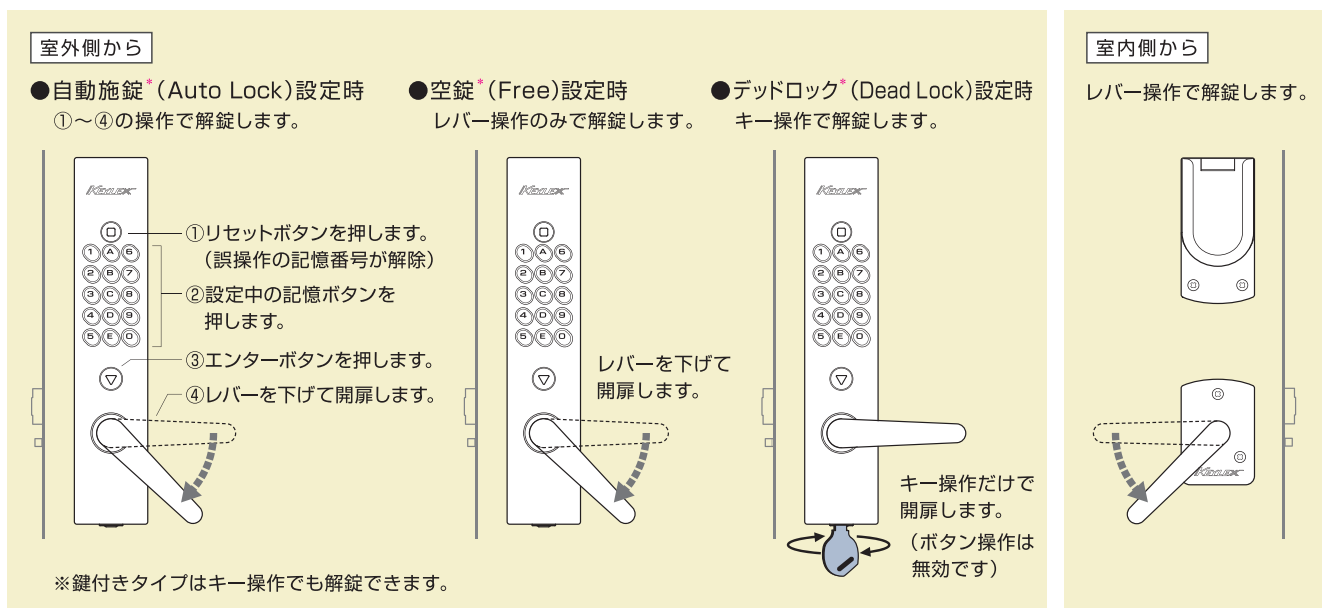
- 鍵なし 鍵のつかないタイプです。
- 鍵つき 鍵つきタイプです。(キー2本付)
- デッド デッドロック機能付です。
- 両面 両面ボタンタイプです。

■各部の名称



■施錠の方法 ●自動施錠の場合 扉を閉めると自動的に施錠されます。

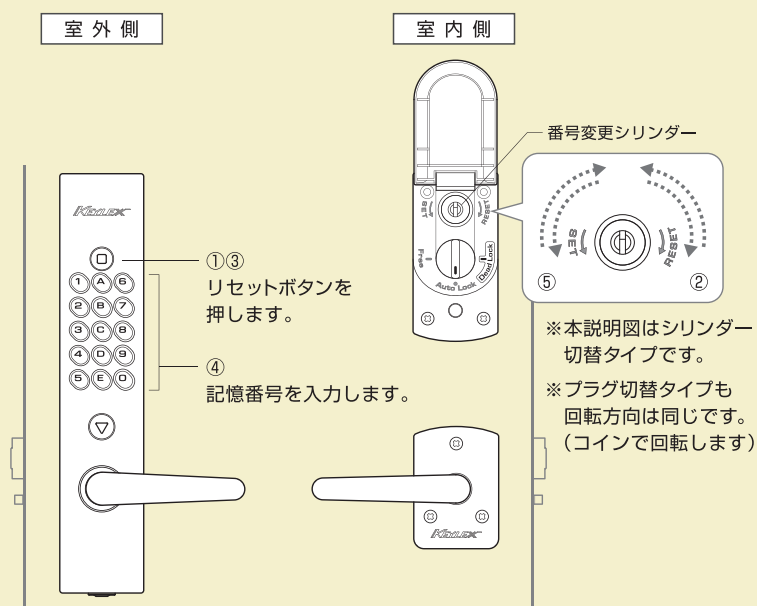
■解錠の方法



* マークの用語については、巻末(P66・67)の用語集をご覧ください。

■記憶番号変更方法 防犯のため、定期的な番号変更をお奨めします。

◎本体を扉に取り付けたままで記憶番号の変更ができます。
(必ず扉を開けた状態で操作を行ってください)



手順1…今までの記憶番号を解除します。

- ①リセットボタンを押します。
- ②番号変更シリンダーにキーを差し込み、RESET方向に90°回転し、元の位置に戻して抜きます。

手順2…新しい記憶番号を設定します。

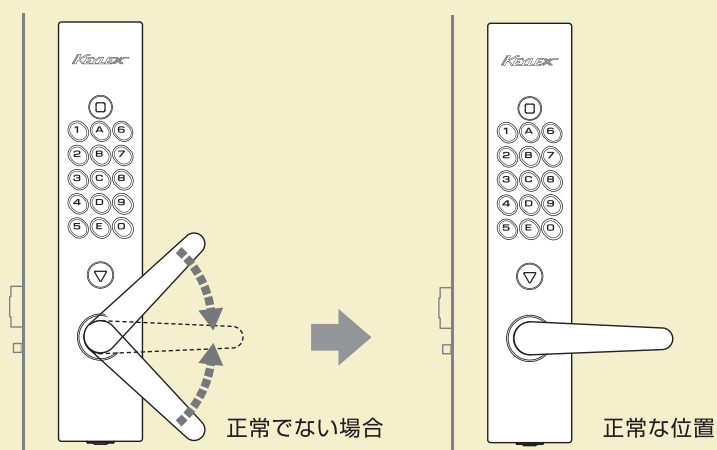
- ③リセットボタンを押します。
- ④新しく設定する記憶番号を入力します。
- ⑤番号変更シリンダーにキーを差し込み、SETの方向に90°回転し、元の位置に戻して抜きます。

※記憶番号の設定後は必ず記憶番号による解除操作を行い、正しく記憶番号がセットされているかをご確認ください。

記憶番号設定に関するご注意

- キーレックス4000は、1～15桁まで任意の記憶番号を設定できます。
- 記憶番号組合せは32,768通りです。
- ボタンを押す順番は自由です。
例：記憶番号(1・2・3)の場合、(1・2・3)と押しても(2・3・1)(3・1・2)(1・3・2)と押しても解錠できます。
- 1つのボタンにつき設定は1回だけです。
(同じボタンを2度押す設定はできません)
例：(1・1・2・3)や(1・2・2・3)の設定はできません。

■レバーハンドルの位置について(キーレックス4000・2100・1100・800共通)



レバーハンドルが正常な位置にない場合はこじ開け防止の安全装置が作動したものです。

レバーハンドルには「こじ開け防止・安全装置機能」がついています。記憶番号を入力せずに強引にレバーハンドルを操作をすると内部機構保護のため安全装置が作動し、レバーハンドルが空転して下(上)位置で止まります。

故障ではありませんので、正常な位置に戻してからご使用ください。

高いセキュリティが求められる公共施設にも多数採用されている、キーレックスのスタンダード商品です。

KEYLEXX®

2100

自動施錠
面付本締錠

両面ボタンタイプ
デッドロック機能

2 colors

● シルバー

● アンティークブラス

適応扉重量 80kg以下
標準扉厚 30~45mm

記憶番号
1~14桁まで
任意に設定可能

記憶番号の変更
ロック板差替
方式

ハンドル

レバー式

ノブ式

ロックターン式

番号組み合わせ

16,384通り

PAT
※写真は原寸です

KEYLEX® キーレックス 2100 自動施錠 / 面付本締錠

■材 質：亜鉛合金

■仕 上：WB(シルバー)メッキ / AB(アンティックブラス)メッキ

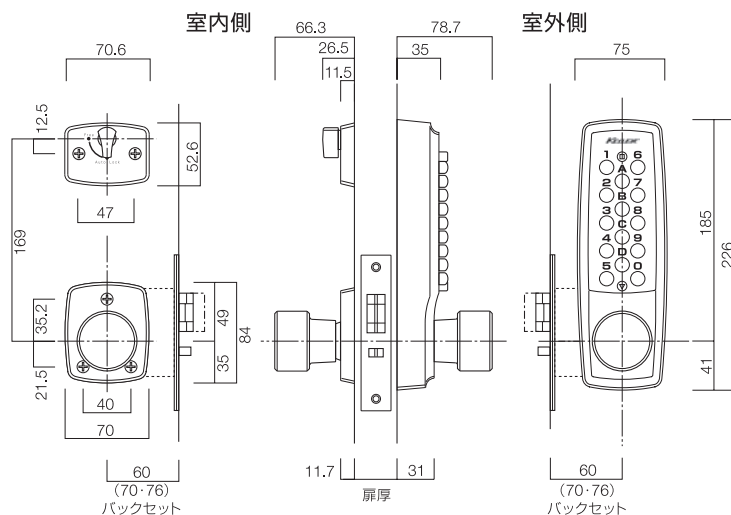
■標準扉厚：30~45mm 標準以外は扉厚をご指定ください。(特注扉厚45~70mm)

KEYLEX
2100



自動施錠(22403)

■製品図



22403

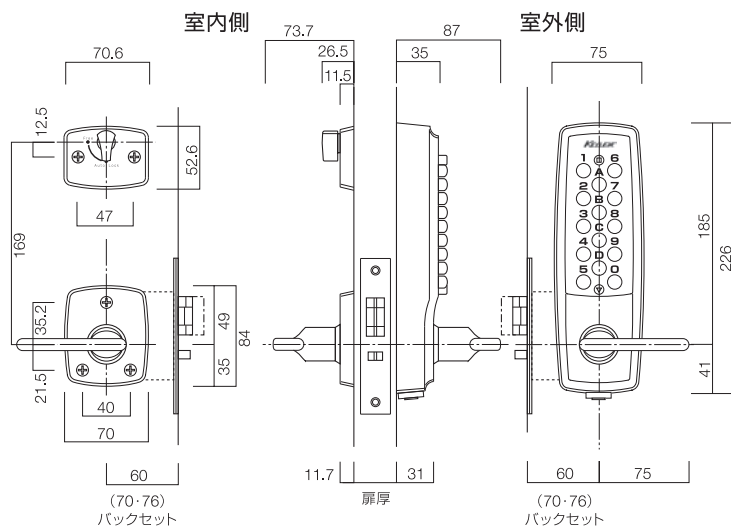
WB AB

鍵なし



自動施錠鍵付(22423M)

■製品図



22423M

WB AB

鍵つき

キーレックス2100機能バリエーション
品番は見開きインデックスをご参照ください。

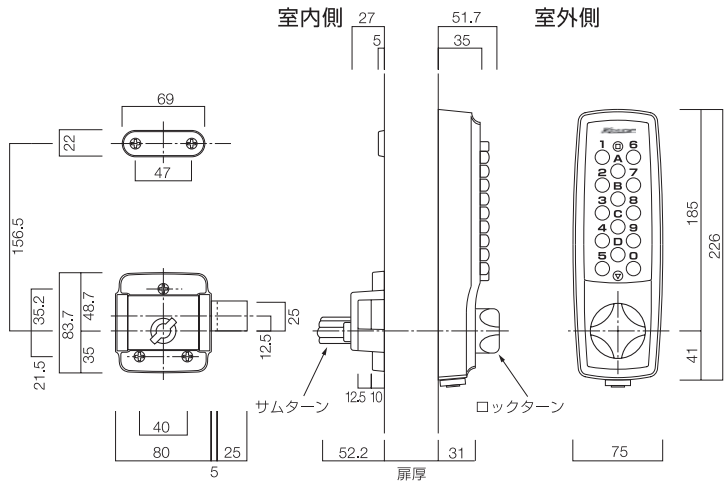
- 鍵なし 鍵のつかないタイプです。
- 鍵つき 鍵つきタイプです。(キー2本付)
- デッド デッドロック機能付もあります。
- 両面 両面ボタンタイプもあります。
- カバー カバー付タイプもあります。



面付本締錠鍵付
AB(アンティークブラス)メッキ
室内側

面付本締錠鍵付(22404M)

■製品図



WB AB

鍵
つき

22404M

キーレックス2100 カバー単体(22109) 材質: ABS樹脂



※写真はカバー取り付け例です。
※キーレックス本体は別売りです

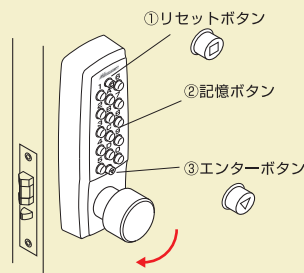
■施錠の方法

- 自動施錠の場合 扉を閉めると自動的に施錠されます。
- 面付本締錠*の場合 室外側からはロックターン*、室内側からはサムターン*を丁番と反対側に回すと施錠されます。

■解錠の方法

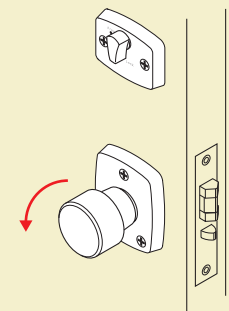
室外側から

- ①リセットボタンを押し、リセットします。
 - ②記憶ボタンを押します。
(記憶番号は14桁まで任意に設定できます)
 - ③エンターボタンを押します。
 - ④ノブ・レバーを丁番側に回して扉を開けます。
- * 操作後、エンターボタンが戻った事を確認してください。
* 鍵付タイプの場合は、キー操作で開扉できます。



室内側から

- 自動施錠の場合 ノブ・レバーを丁番側に回して扉を開けます。
(アンチパニック機能付)
- 面付本締錠の場合 サムターンを丁番側に回して扉を開けます。



KEYLEX® キーレックス 2100 自動施錠

■材 質：亜鉛合金

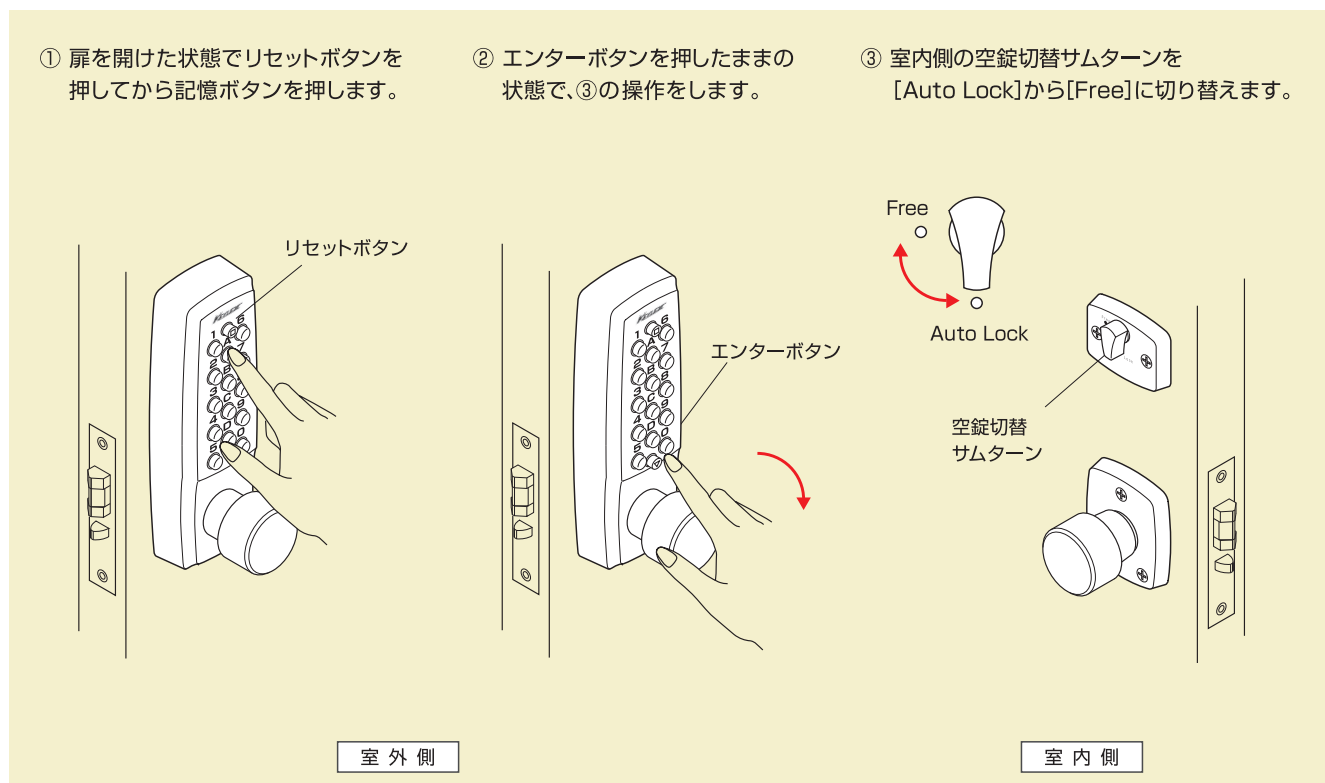
■仕 上：WB(シルバー)メッキ/AB(アンティークブラス)メッキ

■標準扉厚：30～45mm 標準以外は扉厚をご指定ください。(特注扉厚45～70mm)

KEYLEX
2100

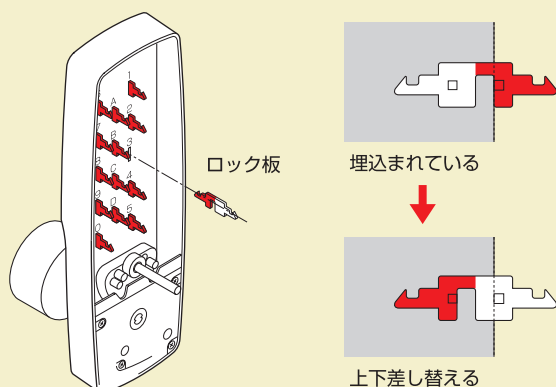
■空錠への切替 (扉を閉めても錠がかからない状態 [空錠])にできます。)

- ① 扉を開けた状態でリセットボタンを押してから記憶ボタンを押します。
- ② エンターボタンを押したままの状態、③の操作をします。
- ③ 室内側の空錠切替サムターンを [Auto Lock] から [Free] に切り替えます。



■記憶番号の変更

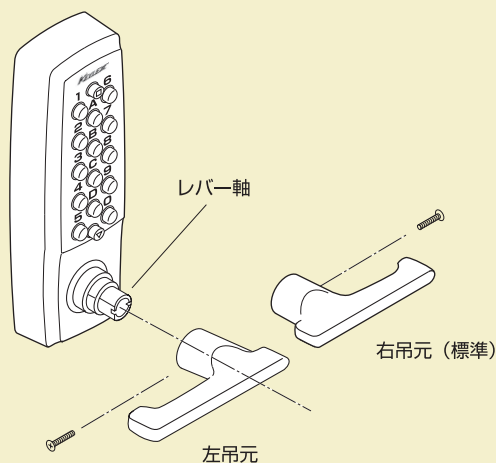
新しく記憶させる番号のロック板をステンレス色が見えるように、上下差し替えます。



ステンレス色のロック板が表に出ている番号が記憶されます。

■左右吊元*の変更 (標準品は右吊り元です)

左吊元の場合は、レバータイプのみ、レバーハンドルの向きを変更してください。



※錠は、ラッチ・トリガーの形状が左右対称で吊元変更の必要はありません。

他社シリンダーの装着ができ、
他社製品とのマスターキー組み合わせも可能です。

KEYLEX®

1100

自動施錠

両面ボタンタイプ
デッドロック機能
他社製品の
シリンダーの
組み込みも可能

2 colors

- メタリックシルバー
- メタリックアンバー

番号組み合わせ

16,384通り

KEYLEX



適応扉重量 80kg以下
標準扉厚 30～45mm

記憶番号
1～14桁まで
任意に設定可能

記憶番号の変更
ロック板差替
方式

ハンドル

レバー式

ノブ式

PAT
※写真は原寸です

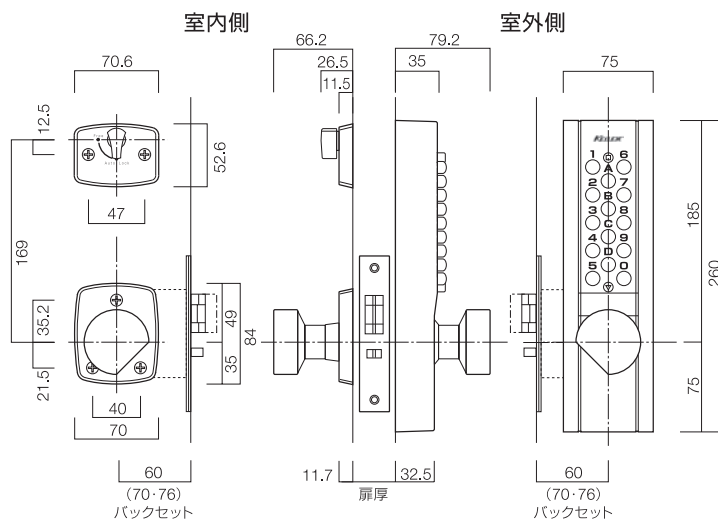
KEYLEX[®] キーレックス 1100 自動施錠

- 材 質：アルミ
- 仕 上：MS(メタリックシルバー)塗装/MU(メタリックアンバー)塗装
- 標準扉厚：30~45mm 標準以外は扉厚をご指定ください。(特注扉厚45~70mm)



自動施錠(22603)

■製品図



22603

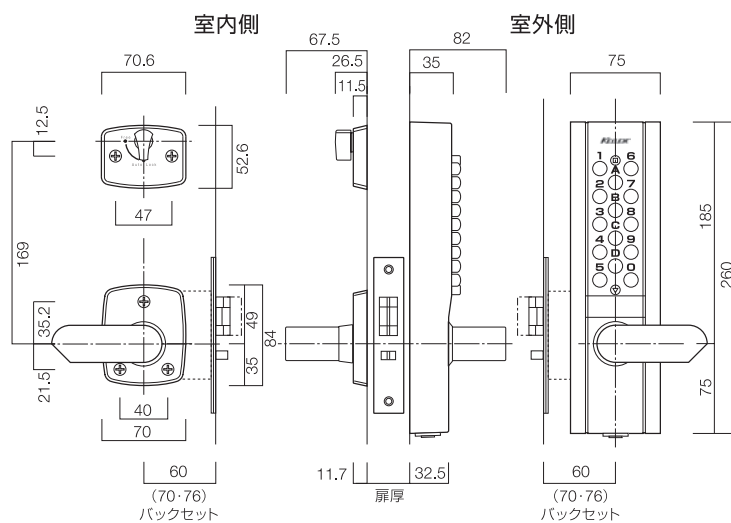
MS MU

鍵なし



自動施錠鍵付(22623M)

■製品図



22623M

MS MU

鍵つき

キーレックス1100機能バリエーション
品番は見開きインデックスをご参照ください。

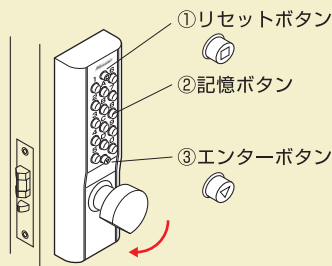
- 鍵なし 鍵のつかないタイプです。
- 鍵つき 鍵つきタイプです。(キー2本付)
- デッド デッドロック機能付もあります。
- 両面 両面ボタンタイプもあります。

■施錠の方法 ●自動施錠の場合 扉を閉めると自動的に施錠されます。

■解錠の方法

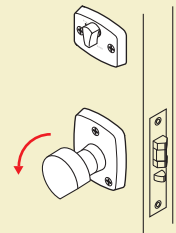
室外側から

- ① リセットボタンを押し、リセットします。
- ② 記憶ボタンを押します。
(記憶番号は14桁まで任意に設定できます)
- ③ エンターボタンを押します。
- ④ ノブ・レバーを丁番*側に回して扉を開けます。
* 操作後、エンターボタンが戻った事を確認してください。
* 鍵付タイプの場合は、キー操作で開扉できます。



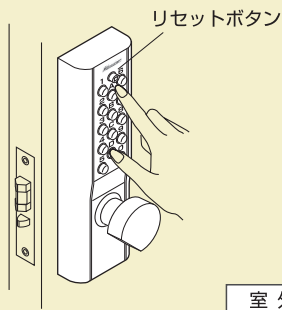
室内側から

ノブ・レバーを丁番側に回して扉を開けます。

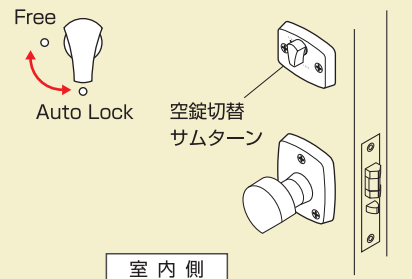
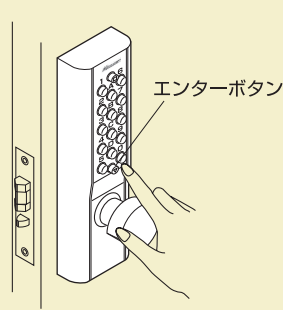


■空錠への切替 (扉を閉めても鍵がかからない状態[空錠]にできます。)

- ① 扉を開けた状態でリセットボタンを押してから記憶ボタンを押します。
- ② エンターボタンを押したままの状態、③の操作をします。
- ③ 室内側の空錠切替サムターンを [Auto Lock] から [Free] に切り替えます。



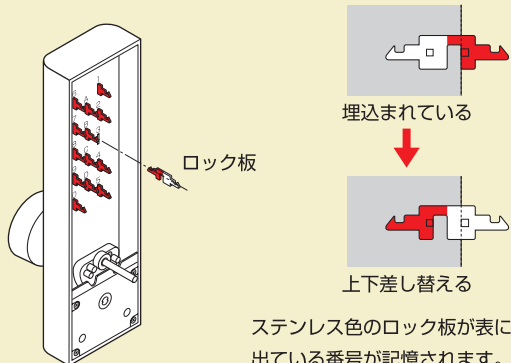
室外側



室内側

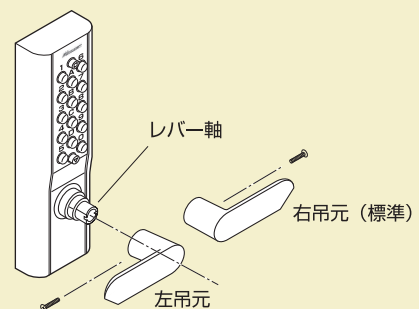
■記憶番号の変更

新しく記憶させる番号のロック板をステンレス色が見えるように、上下差し替えます。



■左右吊元*の変更 (標準品は右吊り元です)

左吊元の場合は、レバータイプのみ、レバーハンドルの向きを変更してください。



* 錠は、ラッチ・トリガーの形状が左右対称で吊元変更の必要はありません。

* マークの用語については、巻末(P66・67)の用語集をご覧ください。